

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決算額
		目	2 関西事務所活動運営費	12,718千円	12,266千円
担当課決算額				12,718千円	12,266千円

○人件費 9,126千円
一般職1名

○関西事務所管理運営費 3,140千円
大阪市北区梅田の鳥取県関西本部内に「琴浦町関西事務所」を開設して職員1名を配置しました。
町内への定住促進活動、観光スポットのPR、そして販路開拓・拡大等さまざまな活動を行い、町の活性化に取り組みました。

「成果」 ①企業立地関係
・県(町内)進出企業、守口門真商工会議所との連携強化
②移住・定住促進関係
・IJU定住Big相談会等への積極的参加による移住・定住促進を実施した。
③観光振興関係
・観光エージェント回りによる、観光プラン化→観光客誘致を図った。
④販路開拓関係
・新規としては、神戸市東灘区内郵便局と連携して神戸森郵便局内で琴浦町物産展を開催した。

「課題」 上記①から④を推進する。

款	2 総務費	項	5 統計調査費	最終予算額	決算額
		目	1 統計調査費	5,007千円	4,960千円
担当課決算額				5,007千円	4,960千円

○人件費 3,710千円
一般職1名

○統計調査事務事業 5千円

○基幹統計調査事業 1,245千円
統計法に基づく指定統計調査を実施しました。
平成24年度指定統計調査
・平成24年経済センサスー活動調査(基準日 2月1日)
・平成24年就業構造統計調査
・平成24年工業統計調査
・平成25年住宅・土地統計調査単位区設定
・平成24年度学校基本調査(基準日 5月1日)
・平成24年度鳥取県人口移動調査
・平成24年度統計調査員確保対策事業

「成果」 各種統計調査を計画どおり実施できた。
「課題」 統計法において、調査への報告は義務化されているものの、個人情報保護への意識の高まりから、調査拒否をなされるケースが増えてきつつある。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	1 商工総務費	29,813千円	29,633千円
担当課決算額				28,772千円	28,593千円

○人件費 28,554千円
一般職4名

○大型共同作業場管理運営 16千円
施設の維持管理(火災保険料)を行いました。

「課題」 耐用年数(補助事業)経過後には、無償譲渡を検討する必要がある。

○同和対策雇用促進協議会 23千円
人権・同和対策雇用促進協議会へ補助を行いました。
年間研修会

期日	内容	参加者
6月25日	理事会、総会及び研修会	34人
3月5日	研修会	34人



その他の事業

- ・就職差別撤廃に向けた企業訪問(特養みどり園、高野組)

「成果」 年2回の研修会を通じ、労働者における人権等について学ぶことができた。

「課題」 研修会等への参加者が固定、減少してきているため、参加の促進を図る必要がある。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	2 商工振興費	36,249千円	35,947千円
担当課決算額				36,249千円	35,947千円

○中小企業小口融資 15,529千円

町内の中小企業の運転、設備に要する経費に対して審査会で審査し、融資を行い経営の安定を図りました。(審査員報酬を含む) 審査会は年1回実施。

金融機関への預託による融資実行実績

種別	預託金額	件数
継続融資	12,260千円	37
継続融資(同和)	1,972千円	3
年度融資	1,282千円	2
計	15,514千円	

「成果」 融資を行うことにより、経営の安定化及び設備投資を支援することができた。

「課題」 景気低迷に伴い他の融資制度が充実しているため、利用が減少している。

○商工業の振興 20,418千円
 マル経融資の利子補給補助の創設など、商工関係団体等へ支援することにより、
 商工業の振興を図りました。また、琴浦グルメストリートにブランド化事業を委託したことにより、
 グルメの町としての地域活性化が図れました。

委託料	
・琴浦ブランド化推進委託料	5,000千円
補助金	
・商工会補助金	6,500千円
・労務改善協議会補助金	408千円
・プレミアム付ことうら商品券発行事業補助金	1,693千円
・特産品等販路開拓事業補助金	620千円
・雇用促進奨励助成金(8事業所延べ11名分)	2,200千円
・小規模事業者経営改善資金利子補給補助金	177千円
交付金	
・企業再生事業費交付金(東伯シティ)	2,800千円

「成果」 各種事業への支援策を行うことにより、商工業の振興を促進することができた。
 「課題」 少子高齢化に伴う景気の低迷が懸念され、グルメ等による地域経済の活性化が必要。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	2 商工振興費【繰越明許】	1,300千円	1,281千円
担当課決算額				1,300千円	1,281千円

○委託料 1,281千円
 琴浦特産カタログ作成委託業務
 琴浦町の特産品を一つにまとめたカタログを作成し、主に関西圏に約15,000部配布し
 ※繰越明許



款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	3 観光費	53,130千円	51,170千円
担当課決算額				52,613千円	50,835千円

○白鳳祭 3,927千円
 第22回白鳳祭を開催するにあたり白鳳祭実行委員会へ補助を行った。
 開催日:平成24年8月5日 場所:東伯総合公園 参集人数:約3000人

「成果」 地域の芸能・文化を再認識する場を設け、地域への誇りを持つための機会をつくった。
 「課題」 住民参加型・協働による運営方法を検討する必要がある。

○観光振興 13,302千円
 観光関係のイベント、観光パンフレット印刷、観光看板の設置、観光情報発信業務の委託、
 観光関係団体への負担金等の補助を行い、観光の振興を図りました。
 交付団体
 町観光協会、八橋振興会、とっとり梨の花広域観光協議会、県観光連盟、山陰観光連盟
 大山遭難防止協会、大山山麓観光推進協議会、大山国立公園協会 他7団体

「成果」 各種観光施策を実施しながら、今後10年の指針となる観光ビジョンを策定した。
 「課題」 観光ビジョンに基づく観光施策を実施する必要がある。

- 一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業 5,690千円
 施設の管理と環境美化に努め、周辺自然環境を保全し、キャンプ場利用者、大山滝や中国自然遊歩道来訪者の利便を図った。また、一向平山開きを実施して観光の振興を図った。
 ・来訪者 8,884人

「成果」 一向平森林保全協会に委託することにより、各々の活動に資することができた。
 「課題」 作業道路を遊歩道として継続させるため、管理方法等を検討する必要がある。

- 船上山管理運営 2,409千円
 船上山のさくらの里トイレ、茶園原休憩所、駐車場周辺の施設の維持管理を行った。

「成果」 各種団体に委託することにより、各々の活動に資することができた。
 「課題」 新しい山頂休憩舎を適正に維持管理する必要がある。

- 道の駅ポート赤碕運営管理事業 5,443千円
 施設の維持管理を適切に行った。
 24年度利用者数:約28万人(昨年度約30万人)

「成果」 施設を適切に維持管理することにより、道の駅利用者への利便を図ることができた。
 「課題」 東伯中山道路の開通に伴い、入込客が減少しているため誘客の促進が求められる。

- 船上山さくら祭り運営事業 1,653千円
 第21回船上山さくら祭りを開催するにあたりさくら祭り実行委員会へ補助を行った。
 開催日:平成24年4月29日 場所:船上山万本桜公園 参集人数:約3,000人

「成果」 県内外より多くのお客様に来場していただくことで、文化・経済・観光の振興が図れた。
 「課題」 年々参加者が増加しているため、駐車場の確保を検討する必要がある。

- 物産館ことうら管理運営 15,590千円
 琴浦PA内「物産館ことうら」の施設の維持管理を適切に行った。
 24年度利用者数:約21万人



「成果」 誘導看板の設置等により誘客を図れた。
 「課題」 行楽シーズンが終わると売上が減少するため、誘客増加の対策を検討する必要がある。

- 旧中井旅館管理運営 619千円
 施設の管理と運営を適切に行った。
 ・利用者 2,253人

「成果」 観光振興、高齢者の交流の場としての利用促進が図れた。
 「課題」 施設が老朽化しており、今後の適切な維持管理が必要である。

- まんが王国推進事業 2,202千円
 まんが王国とつとりの建国にあわせ、マンガ「琴浦さん」とのタイアップ事業をスタートさせた。アニメ放送等による反響もあり、多くのファンが来町され、琴浦町を全国へPRすることができた。

- タイアップ事業

 - ・町報4コマ作成 208千円
 - ・ポスター作成 594千円
 - ・観光PR名刺台紙作成 583千円
 - ・町バスのラッピング 290千円



「成果」 これまで琴浦町を知らなかった方にPRができ、全国アニメファンへPRすることができた。
 「課題」 アニメ放送による影響が大きいため、放送終了後の取組みを検討する必要がある。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	4 地域振興費	85,249千円	84,697千円
担当課決算額				76,849千円	76,297千円

○地域活性化基金 28千円
 地域活性化基金の利子を基金に積み立てました。

○国際交流の推進 1,559千円
 日韓交流を軸に国際交流の推進を図りました。

「成果」 交流先である麟蹄郡と交流促進を図った。
 「課題」 現在の文化交流をどう発展させるか検討が必要である。
 行政主体の交流から民間主体の交流へシフト。

○きらりタウン定住促進事業 706千円
 環境共生モデル住宅団地「きらりタウン赤碕」の販売を促進し、住民の定住化により地域振興を図りました。
 ・きらりタウン赤碕定住促進謝礼金 700千円(100千円×7件)

「成果」 7件(内、町内6件、県内1件)の入居があった。
 「課題」 継続したPRが必要となるため、平成25年度より販売の促進を図るため取扱を見直す。

○八橋ふれあいセンター管理 846千円
 施設を維持管理し地域住民の交流の場として活用し、地域の活性化を推進しました。

「成果」 八橋振興会へ指定管理し、施設の維持管理に資することができた。
 「課題」 施設の老朽化に伴う、修繕が懸念される。

○三本杉ふるさと分校管理 85千円
 施設を維持管理し地域住民の交流の場として活用、活性化を推進しました。

「成果」 三本杉ふるさと分校管理委員会指定管理し、施設の維持管理に資することができた。
 「課題」 施設の老朽化に伴う、修繕が懸念される。

○バス交通対策 56,404千円
 町内統一100円運賃バス路線の運行と広域バス路線の維持により生活路線の維持確保等を行いました。
 ・バス交通対策補助(日ノ丸自動車) 10,554千円
 (倉吉～赤碕広域路線)
 ・町営バス運行委託料(日ノ丸自動車) 44,767千円

「成果」 町内バス路線の運行と広域バス路線の維持により生活路線の維持確保を実施した。
 「課題」 町営バス路線を含む適正な新交通体系の検討。



- 交流ネットワーク事業 159千円
 農水産物等の地元特産品を詰めあわせた、ふるさと宅急便を企画し、県内外にPR・販売し地元産品の販売促進を図りました。
 ・「ことうら三昧ふるさと便」販売個数621個
 「成果」旧町単位で組み合わせていたセットを刷新し、中身もブラッシュアップを図った。本町特産品を県外に送り出すことで、知名度向上に貢献した。
 「課題」新規購入者の開拓を目指さなければならない。
 琴浦会会員相互の親睦及び情報交換を図り、併せて本町の発展・活性化に寄与することを目的に活動を行いました。
 ・琴浦会会員数 126人(東日本地区50人 西日本地区76人)
 「成果」会員へ町報や事務局だよりを毎月送付し、ふるさとの情報を提供した。
 「課題」会員が年々減少しており、会員のメリットを検討しなければならない。
 会員へは、町のアドバイザーとして活動を期待する。
- 日韓友好交流公園管理運営 7,594千円
 日韓友好を推進するため国際交流の象徴ならびに観光資源として有効活用するために施設の管理運営を行いました。
 また、日韓友好交流公園「風の丘」及び日韓友好資料館・物産館が、平成23年4月1日に「恋人の聖地」に認定され、新たな来館・来園者の獲得に向け取組を進めています。
 平成24年度入館者数:17,438人
 「成果」日韓友好交流資料館に備えている民族衣装の充実を図った。
 約120名の着衣体験、また公園内で写真撮影等の利用があった。
 「課題」継続した取組が必要である。日韓友好交流資料館の年間計画を策定したい。
 また、資料館内の展示物の入替をし、資料の充実を図らなければならない。
- 移住定住促進事業 2,698千円
 琴浦町へのIJUターン者に対し、所要の助成措置を講ずることにより、町外からの移住による人口の増加と定住の促進を図りました。また、地域の活性化及び空き家の増加に伴う過疎化、環境の悪化等を防止する目的で、IJUターン希望者へ提供する空き家の登録を推進しました。
 ・移住定住奨励金 2,520千円(県外からの移住実績4件)
 ・IJUターン相談会の開催(7月・10月・2月(大阪))
 ・とっとり田舎暮らし体験ツアー開催(8月)
 「成果」沖縄県1件、大阪府2件、京都府1件、空き家を利用して移住された。
 「課題」県外でのIJUターン相談会に積極的に参加し、継続したPRが必要である。
 IJUターン希望者の多くが就農を希望されており、支援策を検討する必要がある。
- 国際交流コーディネータ事業 2,450千円
 韓国からの国際交流コーディネータを1名設置し、交流事業、学校や地域住民への語学指導等を実施するなど、国際交流の推進を図りました。
 「成果」韓国語講座や学校等の訪問により、住民の国際理解を深めた。
 「課題」これまで実施した事業の他、経済交流やインバウンド対応等幅広い活動が望まれる。
- コトウラ暮らしお試し滞在住宅事業 3,768千円
 お試し住宅の整備、改修工事を平成23年と24年の2ヵ年で行いました。
 「成果」平成25年4月のオープンに向け安心して居住していただくため生活用備品、セキュリティーの警備管理を整え、お試し住宅オープンに備えた。
 「課題」県外者へ積極的にPRを行い、年間を通した利用促進を図りたい。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	5 緊急雇用創出費	29,142千円	28,424千円
担当課決算額				2,289千円	2,289千円

○緊急雇用創出事業 28,424千円
 厳しい雇用失業情勢にかんがみ創設された鳥取県緊急創出事業臨時特例基金を活用して、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者、未就職卒業者等の失業者に対して次の雇用まで短期の雇用・就業機会の創出を図りました。

(委託事業)

- ・観光資源整備事業(万本桜公園整備) 新規雇用 5人

(直営事業)

- ・農・建設施設等環境整備事業 新規雇用13人 6ヶ月更新延べ人数
- ・環境整備事業 新規雇用 4人
- ・保育支援事業 新規雇用 2人
- ・健康生活形成促進事業 新規雇用 2人

計 26人 事業全体人数

「成果」 国庫支出による県補助事業により、町としての雇用事業が展開できた。延べ26人の雇用を確保し、草刈作業を中心として環境整備が図られた。

「課題」 平成25年度が補助年限であり、平成26年度以降の事業実施のあり方が課題。